

## 補足資料2 二高 I C Eモデルの具体事例

### 「二高 I C Eモデル」

学びの段階を Ideas(習得), Connections(活用), Extensions(探究)と定義する。深い学びである探究型授業の評価を意識したモデルとなっている。

研究テーマ1で開発した二高 I C Eモデルの例

#### 【SSI】ロウソクの輝きの考察

Iレベル	実験の結果のみを述べている。自分の意見が述べられている。
Cレベル	実験結果の根拠をもとに考察している。燃焼と輝くことを区別ができていない。
Eレベル	内炎に存在するススの存在を、不完全燃焼(アセチレンの燃焼実験、またはガスバーナーの炎)を根拠に、実験結果とともに考察している。

#### 【GRⅢ】課題研究アブストラクト作成

Evaluation perspective/ICE	Ideas	Connections Extensions
Ability to discover issues みつける力 (課題発見)	Recognition of their own problem 課題の明快さ	Unique perspective 独自性
Logical thinking きわめる力 (論理的思考力)	Accuracy of grammar 文法の精度	Validness 客観的根拠
Utilization つなげる力 (活用する力)	Conciseness in expression 簡潔な表現	The potential ability for development 発展が期待できる

研究テーマ2で開発した二高 I C Eモデルの例

#### 【物理】単振動

Iレベル	単振り子の周期の式を覚えていたか
Cレベル	単振り子の周期の式と単振り子の運動を関連付けて説明できたか
Eレベル	測定した範囲以外の結果を予測することができるか

#### 【化学】高分子化合物

Iレベル	既存の合成樹脂の単量体は何か、その樹脂の特性を説明できたか
Cレベル	メラミン樹脂はメラミン分子中の六員環があるため強度が増すことを説明できたか
Eレベル	単量体の特性を考慮して新たな樹脂を提案できたか

#### 【生物】膜を介した水の移動

Iレベル	膜を介した水の移動の原理をできたか
Cレベル	ナメクジに塩をかけたときの変化を、水の移動に注目して説明できたか
Eレベル	日常生活の中でみられる生理現象を、水の移動に注目して説明できたか

#### 【地学】堆積岩とその形成

Iレベル	流水のはたらきや地形の形成を理解できたか
Cレベル	流水のはたらきにより、身近な地形の形成過程に結びつけることができたか
Eレベル	地表の変化の様子に興味をもち、堆積岩や地層、化石について調べることができたか

#### 【数学】2次不等式の導入

Iレベル	2次不等式の解を答えることができたか
Cレベル	方程式の解とグラフとx軸との共有点の関連付けることができたか
Eレベル	「>0」以外の不等式も考えることができたか

#### 【国語】評論「グローバル化のゆくえ」

Iレベル	評論用語の意味や、リスクを不平等に配分する社会制度について理解できたか
Cレベル	グローバル化時代の特徴について、経緯や背景を含めて考察することができたか
Eレベル	私たちに求められる新たな人間関係を想定し、その実現には何が必要か討論を深めることができたか

#### 【eポートフォリオ①】探究活動の記述

Iレベル	活動の内容をリアルに思い浮かべられるような記述ができた
Cレベル	自分の興味関心から出発し、知識の蓄積や挑戦や努力の積み重ねが一貫していた
Eレベル	探究活動が、将来の自分のどの場面で活かそうか具体的に想像できた。創造性のある提案ができた。

#### 【eポートフォリオ②】校外活動の記述

Iレベル	活動の内容を整理できた
Cレベル	組織・団体の中での位置づけができ、自分の行動を裏付けることができた
Eレベル	地域社会の一員としての視点を持った記述ができた。自分の生き方や人生を豊かにすることにつながるなど意義付けができた。

補足資料3 ID[インストラクショナル・デザイン]と主体的・対話的で深い学びを問う授業振り返りシート

1 ID[インストラクショナル・デザイン]とは何か？

教育活動の効果と効率と魅力を高めるための手法を集大成した指導モデル：生徒の学習成果を高め、生徒・教員の労力の減少を図り、さらに学びたいと思わせる工夫を集めたもの。

2 IDを導入したのはなぜか？

- (1) 授業の到達点ができるだけでなく、自分の見方や考え方の変化を捉えやすく、生徒の主体性を高めることができるから。
- (2) 教科の枠を超え、カリキュラム・マネジメントを促進するとともに、効率的に職員へ普及できるから。

3 IDのフレームにICEモデルを加えて、主体的学びを問いかける授業振り返りシート（例）生徒が4段階で評価

		【授業デザインへの評価】		【セルフリフレクション】		関連するID理論
		教科・科目	物理	教科・科目	物理	
目標→全体	I	授業の目標が何か理解できる場面があるか	4	授業の目標が何か理解できているか	3	■ガニエの9教授事象 導入 事象2: 授業の目標を知らせる 「今日は〇〇を勉強するんだな」
	I	知識・技能を体得する機会はあるか (反復練習が十分できるか)	4	知識・技能を体得しようとしたか	3	■ガニエの9教授事象 学習活動 事象6: 練習の機会をつくる 「〇〇をやってみよう」
授業・教材	C	思考を促される問いはあるか ・単元を貫く問いが意識できたか	3	思考を促される問い自体に答えようとしたか	2	■ケラーのARCSモデル 魅力あるものにするためのアイデアを整理する枠組み(おもしろそう・やりがいがありそう・やればできる)  ■学習環境設計の4原則 学習者中心・知識中心・評価中心・共同体中心
		思考を促される工夫があるか	3	思考を促され、自分が思考を深めようとしたか	2	
	生徒同士で思考を促し合う機会があるか ・ペアやグループでの話し合い・記述したものの回覧・他者への気付き等	2	生徒同士で思考を促し合おうと行動したか	3		
	思考・成果をアウトプットする機会があるか ・口頭発表(ペア、グループ、全体)・身体表現・紙面発表(文字、図)等	2	思考・成果をアウトプットしようとしたか	3		
	E	次につながる振り返りができているか ・その状況で何が本質的であるかが分かる・経験から学べる	2	次につながる振り返りができたか	3	
評価	C	知識獲得の確認だけでなく、知識にまつわるプロフィールを広げていく機会があるか ・創造的読書・考査の内容・考査解答の複数提示・レポートの内容等によって自ら広げる機会	3	知識同士をつなげようとしたか ・関連することをさらに広げようとしたか ・教科内での様々な領域・複数教科の関連性	4	■ガニエの9教授事象 まとめ 事象9: 保持と転移を高める 「これって、他にも使えるかな？」
		知識同士をつなげる機会はあるか ・教科内での様々な領域・複数教科の関連性 など	3			
	E	多面的に評価されているか ・客観テスト／ルーブリック評価／他者からの評価／自己評価など	3	自分の力を多面的に伸ばそうと行動したか	3	

4 ID(インストラクショナルデザイン)の代表的ツール（一部の例）

<p><b>(1)ガニエの9教授事象</b>                  事象1 学習者の注意を獲得する                  「〇〇って何？ 知りたいな」                  事象3 前提事項を思い出させる                  「前に〇〇やったな」                  事象4 新しい事項を提示する                  「〇〇ってそうなのか」                  事象5 学習の指針を与える                  「〇〇を理解するにはどうすれば？」                  事象7 フィードバックを与える                  「あれ？間違った！なぜ？」                  事象8 学習の成果を評価する</p>	<p><b>(2)メルルのID第一原理</b>                  [探究を誘発しやすくする効果的な学習環境を実現するために必要なツール]                   *要件: 具体例                  *問題: 現実に関わりそうな問題に挑戦する。                  *活性化: 既知っている知識を動員する。                  *例示: 例示がある&lt;Show me&gt;                  *応用: 応用するチャンスがある                  &lt;Let me&gt;</p>	<p><b>(3)ケラーのARCSモデル</b>                  *注意(Attention) おもしろそうだ                  *関連性(Relevance) やりがいがありそう                  *自信(Confidence) やればできそうだ                  *満足(Satisfaction) やってよかった                   [ARCSモデルは学習者のやりがい・動機づけに関するモデル。足りない要素は何か、授業で不足しているものは何か考えるツールとして活用する。教員だけでなく、生徒自身がこのツールを用いることで、主体性が高まり自己調整学習者へとつながる。]</p>
---	--	---

教科	科目	年度	学年	題材	教員の評価の方法(Eレベルの問い)	生徒の自己評価(Eレベルの問い)	
国語	古典B	2017	3年	『源氏物語』廬院の怪	周囲から共感を得られる若者語訳ができる。	本文をもとにしながら、より興味深い解釈を見つけることができたか。	1
	古典B	2017		大鏡「弓争ひ」	〇〇〇……	初見の文章でも活用できるか？	2
	現代文B	2017	2年 美術科	「ころ」(夏目 漱石)	自分ならどうするか、登場人物と自身を重ね合わせて、その内容をさらに深く考える	自分なりに登場人物の心情の在り方を理解できたか？	3
		2017	3年	「生態系は誰のためにあるのか」			4
	国語総合	2017	1年 理数科	『徒然草』花は盛りに	ニュートン・ガリレオや湯川秀樹等の発見や研究が、常識にとらわれない考えから生まれたことと結びつけることができたか？	他の例を見つけ出すことができたか？	5
	国語総合	2017	1年	花はさかりに『徒然草』	本文の内容を理解し、作者の執筆意図や当時の価値観、兼好独自の価値観を知り、現在の日本人の感受性とのつながりを感じる。	本文の内容を理解し、作者の執筆意図や当時の価値観、兼好独自の価値観を知り、現在の日本人の感受性とのつながりを感じることができたか？	6
	古典	2017	3年	『史記』廉頗藺相如列伝 刎頸之交		思想や立場の違いを乗り越えた真の友情を、自分の人生においても実現させるために、自分はどうあるべきか考察を深めることができたか？	7
	国語総合(古文)	2017	1年	『徒然草』「花は盛りに」兼好法師	現代人の我々が感じる「情趣」とはどのようなものか考察する。	自分が考える「情趣」とは何か考察することができたか？自分自身の生活を振り返ることができたか？	8
	国語総合(現代文)	2018	1年 美術科	「時間をめぐる衝突」(内山節)	未来における文化や経済、人間の生活などの在り方について自由討議	未来に向けての人間の生き方をどう考えるか？	9
	古典B	2018	3年	『源氏物語』(紫の上の死)	周囲から共感を得られる若者語訳ができる。	本文をもとにしながら、より興味深い解釈を見つけることができたか。	10
	国語総合(現代文)	2018	2年	『未来世代への責任』	本文の内容を理解し、作者の執筆意図などを知り、未来の自分を考え、未来の世界へ目を向ける。	本文の内容を理解し、作者の執筆意図などを知り、未来の自分を考えることで、未来の世界へ目を向けることができたか？	11
	国語総合(現代文)	2018	2年	『未来世代への責任』	現代社会の諸問題にどのように取り組んで生きていくべきか考える。	現代社会の諸問題にどのように取り組んで生きていくべきか考え、未来の世界へ目を向けることができたか？	12
	古典A	2018	3年	女三の宮の降嫁(『源氏物語』)	問いについて、本文を根拠に、複線的にとらえさせる	問いについて考える際にいくつかの可能性について考えをめぐらせることができたか？	13
	国語総合(現代文)	2018	1年	「時間をめぐる衝突」(内山 節)	筆者の主張を踏まえたくて、今後の自らの生き方を考える。	筆者の主張を踏まえたくて、自らの生き方に照らし合わせて考えることができたか？	14
	国語総合(現代文)	2018	1年	内山節「時間をめぐる衝突」	人間と時間との筆者の考える関わりを理解し、自分の考えを発表し、他者と共有できる。	他者の意見を踏まえ現代の時間との関わりや自分の意見を深めることができたか？	15
	現代文B	2018	3年	評論「グローバル化のゆくえ」(山崎正和)	私たちが構築すべき新しい人間関係とはどのようなもので、どうしたらその実現が可能になるかを考察する。	私たちに求められる新たな人間関係を想定し、その実現には何が必要か討論を深めることができたか？	16
数学	数学Ⅱ	2017	2年	定積分と面積	曲線で囲まれた面積を求める	いろいろな関数のグラフで囲まれた面積を求めることができたか？	17
	理数数学Ⅰ	2017	1年 理数科	加法定理	加法定理の学習によって、新たにできるようになったことを把握する。	問題を見たときに、加法定理を用いるべき問題であることが理解できたか？	18
	数学応用	2017	3年 文系	確率(1)	いろいろな確率の問題が解ける。	いろいろな問題に取り組むことができたか？	19
	数学Ⅰ	2017	1年	加法定理の応用	加法定理の学習によって、新たにできるようになったことを把握する。	加法定理の有用性を理解し、和積の公式を導く	20
	数学Ⅲ	2017	3年	複素数平面	その他の分野との融合問題等に活用できる	生徒間で問題から分野を広げた内容の会話ができたか？	21
	数学Ⅲ	2017	3年	問題演習	より難度が高い問題に活用できる	問題が理解でき応用的な問題を自ら解こうとできたか？	22
	数学B	2017	2年 文系	2直線の交点の位置ベクトル	三角形以外の図形にも応用することができる。	他の図形にも応用することができたか？	23
	数学応用	2017	3年 文系	確率	いろいろな確率の問題が解ける。	前に解いた問題の考え方を次の問題にも活かすことができたか？	24
	数学Ⅱ	2017	3年 文系	データの分析、三角比と図形	三角比を受験問題に使えるようにする	三角比を受験問題に使えるようになったか？	25
	数学B	2017	2年 理系	位置ベクトル	三角形だけでなく、いろいろな平面図形や空間図形で利用する。	三角形だけでなく、他の図形にも活用できたか？	26
	数学Ⅱ	2018	3年 文系	導関数と接線			27
	理数数学Ⅱ	2018	2年 理数科	図形への応用	複素数平面と実数平面を自由に行き来することができるか？	これまで実数平面で解いていた問題を複素数平面で解くことのメリットに気づいたか？	28
	数学Ⅱ	2018	2年 理系	定積分を含む関数	複雑な定積分でも処理できるか	複数の文字を含む複雑なものも処理できたか？	29
	数学A	2018	1年 理数科	ユークリッドの互除法	$ax+by=1$ の解法への応用	1次不定方程式( $ax+by=1$ )に応用できたか？	30
	数学A	2018	1年	剰余類の利用	合同式やユークリッドの互除法に応用できるか。	合同式やユークリッドの互除法に応用できるか？	31
	数学Ⅱ	2018	3年 文系	微分法	定積分の計算を工夫することができる。	自分で定積分の計算を工夫してできたか。	32
	数学Ⅰ	2018	1年	余りによる整数の分類	2の倍数であることと6の倍数であることの意味について	整数の様々な性質について理解し、積と素因数の個数や合同式につなげることができたか？	33
	数学Ⅱ	2018	2年	定積分と面積	定積分が「符号付き面積」であることを理解する。	定積分が「符号付き面積」であることを理解できたか？	34
	コミュニケーション英語Ⅱ	2017	2年 美術科	The Solar system's Biggest Junkyard	1, 2段落の文章を読める	段落1, 2の内容をペアで話すことができたか	35
	英語表現Ⅰ	2017	1年	仮定法を使う①	与えられた文脈に関連付けて、オリジナルの英文を考えて書く。	文脈に応じた英文を作成することができたか。	36
英語表現Ⅱ	2017	2年 文系	レッスンのまとめ	与えられた文脈に関連付けて、オリジナルの英文を考えて書く。	即興的にテーマに応じて話したり、書いたりできるか。	37	
コミュニケーション英語Ⅲ	2017	3年 理系	A Class from Stanford University	・自分のアイデアや意見に独創性や独自性を持たせて発表できる ・自分で課題を見出し、意見や解決法を考えることができる	自分が本当に思いついたことを英語で表現することができたか？身の回りに実在する課題を自分で見つけて、解決策を考えることができたか？	38	
コミュニケーション英語Ⅰ	2017	1年 理数科	The Story of PlayPompsのSummary	本文の構成を踏まえ、転換の表現を用いながらSummaryを作成できる。	本文全体の構成を踏まえてSummaryを作成できたか？	39	
英語表現Ⅱ	2017	3年 文系	重要表現(2)	英作文のオーソドックスな「人主語」で書くとしたら、を考える。意外に人主語では書きづらいことに気づく(構文を覚える意義付け)	読解においても応用する観点を養うことができたか？	40	
英語表現Ⅰ	2018	1年	不定詞を使う③	今回習った表現を使って自分で文を作り、ペアで発表する。	英語で友達に何か頼むことができたか。	41	
コミュニケーション英語Ⅲ	2018	3年 理数科	SKYWARD Unit 16 光害の影響と対策	題材に対して、自らの考えを英語で書く。	題材に対して自らの意見を書けるようになったか？	42	

教科	科目	年度	学年	題材	教員の評価の方法(Eレベルの問い)	生徒の自己評価(Eレベルの問い)	
英語	コミュニケーション英語・英語表現	2018	2年 文系	Comparison and Contrast, Paragraph Writing	一人一人が自分の英作文を録音し、それを聞いてALTと評価する。	JTEやALTの評価を聞き(あるいは読み)、訂正したものを確実に理解して暗記しながら発表できたか?	43
	コミュニケーション英語・英語表現	2018	1年	be English Expression I advanced Lesson12	エッセイライティング	授業で学んだ例文を用いながらエッセイが書けたか、英字新聞の内容についてクラスメートに分かりやすく発表できたか。	44
	英語表現 I	2018	1年	be English Expression I advanced Lesson11	エッセイライティング及び生徒による相互評価	見た例文を応用してエッセイが書けたか、グループのメンバーが書いた英文にコメントが言えたか(書けたか)	45
	英語表現 II	2018	2年 理系	Section4 副詞の使い方	自分のことを適切な言葉で表現できる	読解においても応用する観点を養うことができたか?	46
	英語表現 II	2018	3年 文系	自由英作文シート Listening Essential	即興会話において主体的に自らの考えを表出する。	読解やリスニングにおいても応用する観点を養うことができたか?	47
	コミュニケーション英語Ⅲ	2018	3年 理系	Skyward SKY Course Unit18「グルタミン酸ソーダと影響」	文章全体の論理構造を把握することができる。	文章全体の論理構造を把握することができたか?	48
	英語表現 II	2018	2年 文系	LESSON 12 副詞節	瞬間英作文において主体的に自らの考え(作文)を表出する。表出した英作文と模範解答の比較を通して自らの課題点を認知し、改善に努めようとする。		49
地歴公民	現代社会	2017	1年	中央銀行と金融政策	自分と社会とのつながり、どのようにして生きていくかを考える。	社会とのつながりや課題を考えることができたかの自己評価	50
	世界史	2017	3年	19世紀の欧米文化	当時の文化が現代においてどのように評価され用いられているかを話し合い、現代文化への理解を深める。		51
	世界史A	2017	2年 理系	「インド古典文明」 仏教の成立と発展	現在仏教が伝播している地域はどこかを考え、その過程を予想		52
	地理A	2017	2年n 理系	気候・気候要素について	恒常風がどの方向から吹くかを考察する。	恒常風の風向を理解できたか?	53
	日本史A	2017	2年	「日露戦争」	今日において、国際社会の一員としての日本のあり方を考察できる。	現代の国際社会と日本の関係を考察することができたか?	54
	日本史B	2017	3年	「戦国大名の登場と分国支配」	各国の分国法を比較し、共通性・相違性を発見できる	分国法の比較を通して、違いや共通点を見つけることができたか。	55
	現代社会	2018	1年	課題探究～共に生きる社会を目指して	問題意識を持って、自分なりの答えを見つけ、次の課題につなげる。	社会の一員としての自覚、社会とのつながりや課題を考えることができたか。	56
	現代社会	2018	1年	選挙と選挙制度	自分と社会とのつながり、どのようにして生きていくかを考える。	主権者としての自覚、社会とのつながりや課題を考えることができたかの自己評価	57
	世界史A	2018	2年	アメリカ独立革命	現在のアメリカ合衆国民の政治機構と現代社会に与えている影響を考える。	大統領制に基づく近代政治、政治制度を理解し、その後の革命との関連に気づくことができたか?	58
	世界史A	2018	2年 理系	フランス革命とナポレオン	第三身分においても都市民衆と農民の目的の違いを想像できるか。	第三身分においても都市民衆と農民の目的の違いを想像できたか。	59
	日本史A	2018	2年 文系	立憲政友会の成立	現在の政党政治と関連づけて考察する	今日の政党政治と関連づけて考察することができたか?	60
日本史A	2018	2年 理系	「日清戦争と三国干渉」	帝国主義の観点から福沢諭吉の「脱亜論」を評価	帝国主義の観点から「脱亜論」を批評し、現代の国際関係の在り方に生かすことができるか?	61	
理科	化学	2017	2年 理系	蒸気圧降下・沸点上昇	希薄溶液の基本的な原理を理解した上で、希薄溶液の現象を俯瞰して理解できている。また、これらの現象が起こっている場面を日常生活の中から見つけることができる。	授業で取り上げた現象以外で、身の回りの現象について自らの力で本単元と関連することをみつけ出すことが出来る。希薄溶液の概念を理解し、身近な現象を原理を使って説明できる。	62
	化学	2017	2年 理系	混合気体の圧力	気球の操縦方法について考える。混合気体を用いた新たな乗り物について考える。	気体の性質(法則)を利用することにより、日常生活を豊かにしていることはなにかありますか?	63
	化学	2017	3年 理系	合成高分子化合物	日常の様々な場面でどのような合成樹脂を用いるか化学的構造を根拠に提案を行う。	日常の様々な場面でどのような合成樹脂を用いるか化学的構造を根拠に提案を行うことができたか?	64
	生物基礎	2017	1年	腎臓と肝臓の役割	ヒトの浸透圧調節の意義について理解する。	浸透圧を調節する意義について自分の経験と結びつけながら理解できたか?	65
	理数生物	2017	1年 理数科	膜を介した水の移動	のどの渇きや尿量の変化など、浸透現象が生物の体に及ぼす影響について考察できる。	のどの渇きなど日常生活の中でみられる生理現象を、水の移動に注目して説明できたか?	66
	地学応用	2017	3年 美術科	岩石や金属の密度測定実験	自然界において物質の密度の違いが引き起こす構造や現象を例示することができる。	物質の密度が異なることでどんな自然現象が起こるかいくつか例を示すことができましたか?	67
	物理	2017	3年 理系	X線の粒子性とコンプトン効果	仮説を基にした理論が実験に合致したとき、仮説は正しいといえるのかの考察	仮説と実験についての議論ができたか?	68
	生物	2018	3年 理系	興奮の伝達	麻酔や覚醒剤などの薬物は、シナプスでの情報伝達に作用していることを考察する。	麻酔や覚醒剤などの薬物が情報伝達にどのように作用したのか考察できたか。	69
	理数化学	2018	2年 理数科	理想気体と実在気体	メリット・デメリットについて自分の考えを発信する。	身の回りに存在する気体(酸素や窒素、水素など)が仮に理想気体であった場合に予想されるメリットとデメリットについて自分の考えを述べるができる。	70
	化学	2018	2年 理系	実在気体と理想気体。理想気体からのずれ	希薄溶液の浸透圧でも、気体の状態方程式と同様にファンツホッフの法則が成り立つ。水溶液での理想と現実の差が生じる要因を考察する。	希薄溶液の浸透圧でも、気体の状態方程式と同様にファンツホッフの法則が成り立つ。水溶液での理想と現実の差が生じる要因を考察できる。	71
	化学	2018	3年 理系	合成高分子化合物 ビニロンのアセタール化	アセタール化の比率と繊維の特性、綿(セルロース)との比較を考察する。	アセタール化の比率と繊維の特性、綿(セルロース)との比較を考察できたか?	72
	理数生物	2018	1年 理数科	腎臓と肝臓のはたらき	ヒトの浸透圧調節の意義について理解する。	浸透圧を調節する意義について自分の経験と結びつけながら理解できたか?	73
	生物基礎	2018	1年	膜を介した水の移動	のどの渇きや尿量の変化など、浸透現象が生物の体に及ぼす影響について考察できる。	のどの渇きなど日常生活の中でみられる生理現象を、水の移動に注目して説明できたか?	74
	地学基礎	2018	2年 文系	堆積岩とその形成	地表の変化の様子に興味をもち、堆積岩や地層、化石について調べようとする。	地表の変化の様子に興味をもち、堆積岩や地層、化石について調べることができたか?	75
	物理	2018	3年 理系	リアクタンス	コンデンサーの交流回路では、電圧の位相に対して電流の位相が $\pi/2$ 進むこと知る。	コンデンサーの交流回路で電流の定義から、リアクタンスの式を導出できる。コンデンサーの交流回路では、電圧の位相に対して電流の位相が進むことを説明できる。	76
	理数物理	2018	3年 理数科	交流回路のインピーダンス			77
	物理	2018	3年 理系				78

教科	科目	年度	学年	題材	教員の評価の方法(Eレベルの問い)	生徒の自己評価(Eレベルの問い)	
情報	社会と情報	2017	2年 理系	「暗号化」	実生活での活用方法、新たな暗号を作る	実生活での活用法や独自の暗号化について考えを及ぼすことができたか。	79
	社会と情報	2017	1年 美術科	バラバラ動画を作ろう！	芸術的観点からの作品評価	動画制作に芸術性を含めることができたか？	80
	GR II	2018	2年 理系	社会の中の情報システム	将来の情報システムを創造し、社会に貢献しようとする意欲	独自の情報システムを自由な発想で考えることができたか？	81
	GR I 情報	2018	1年	コンピュータの構成			82
保健体育	体育	2017	3年	バレーボール	試合で3段攻撃ができる。ラリーが繋げられる	3段攻撃(スパイク攻撃)に繋がっているか？	83
	保健	2017	2年 美術科	「医薬品と健康」	医薬品の正しい使い方を理解し、日々の生活で実践していく。	医薬品の正しい使い方を理解し、日々の生活で実践しているか？	84
	体育	2017	2年	バスケットボール	チームとしての課題を修正してゲームをすることができる	チームの課題を改善し動きを修正することができているか？	85
	体育	2017	3年	ゴルフ	ロフト角に合った適正な高さで真っ直ぐな打球が打てる		86
	保健	2018	1年	「現代の感染症」	感染症を理解し、日々の生活に生かしていける。	今日の感染症の問題を理解し、日々の生活でどうゆう対策が必要かを考えることができたか？	87
	体育	2018	2年	バドミントン	相手チームに特徴を理解し作戦を練ってゲームをすることができる	チームの課題を改善し動きを修正することができているか？	88
	体育	2018	3年	ソフトボール	チームの特徴に応じた作戦を考え、実行することができる。	課題に応じた、練習方法を工夫することができたか	89
	体育	2018	3年	バレーボール	試合で3段攻撃ができる。ラリーが繋げられる	3段攻撃(スパイク攻撃)に繋がっているか？	90
	体育	2018	3年	バドミントン	ダブルスの動きの連携が取れ、戦略的なゲームができている	ダブルスの動きの連携と戦略があるか？攻撃力や防御力が向上しているのか？	91
	体育	2018	3年	サッカー	チームの特徴に応じ、基本技術の応用や、状況判断ができる。	相手に応じた、技術戦術を工夫することができたか	92
	体育	2018	2年	ソフトボール	チームとしての課題を修正してゲームをすることができる	チームの課題を改善し動きを修正することができているか？	93
	家庭	フードデザイン	2017	2年 文系	バングラディッシュのデザート「shemai」を作ろう！	食を通じた地域や社会を思い描くことができる。	KPの発表を聞いて、テーマについての自分の考えを記述することができたか？
家庭基礎		2017	1年	保育領域におけるKPを活用したポスターツアー	社会の一員として何が出来るか文章で表現できる	KPポスターツアーで学んだ情報を総合し、テーマについての自分の考えを述べることができたか？	95
家庭基礎		2018	1年 美術科	経済生活領域におけるミニKPを活用したグループ協働学習	消費者市民社会の一員として何が出来るか文章で表現できる	ミニKP口頭発表で学んだ情報を総合し、テーマについての自分の考えを述べることができたか？	96
音楽	美術探究	2018	1年 美術科	「中世からルネサンスへ」	中世からルネサンスへの変化を理解することができたか	画像分析を通してルネサンスという時代の特徴を理解できたか？	97
美術	美術探究	2017	1年 美術科	「新古典主義とロマン主義」	自分自身の美術史の座標をつくる	自分の言葉で理解したことを表現できたか？	98
	彫刻	2017	1年 美術科	こころのかたち 導入			99
	ビジュアルデザイン	2017	2年 美術科	絵画・VDにおける色彩の効果、混色について考える	自主制作や実技課題への展開		100
	絵画	2017	3年 美術科	「実技模試 講評会」	批評し合い気付いたことをもとに今までの自分の作品を振り返り、今後の制作に生かそうとしているか。	自分の作品の新たな魅力や更なる工夫に気付くことができたか？また、これからの制作に生かそうとしているか？	101
	美術 I	2018	1年	「人物クロッキー」	全体のバランス動きをとらえ、描画材の特性を活かし表現することができる。	体のバランスや重心、動きまで表現することができたか？	102
書道	書道 I	2017	1年	漢字の書(行書)「行書の基本を押さえよう『蘭亭序』」	日常生活に活かす。	行書の役割や魅力を感じ、文章として振り返ることができたか？	103
	書道 I	2018	1年	漢字の書「行書の学習『蘭亭序』」	日常生活に活かす。	行書の役割や魅力を感じ、文章として振り返ることができたか？	104